

風と緑と太陽

気づくと変わる

校長 野田 恵美

12月4日から10日は人権週間です。尾張旭市では11月20日から12月19日を入権月間としています。毎年この人権週間に行う学校集会では、子供たちに「人権」や「思いやり」についての話をしています。今年はどんな話で伝えようか、1年生から6年生までどんな風に伝えようか、と毎日考えています。そんな中、右のようなポスターが学校に届きました。

今年度の愛知県のキーワードは「気づくと変わる人権のこと」となっており、右下にうつむいて咲いている花が描かれています。一度このプリントを逆さまにしてもう一度見てください。不思議ですね。花だったのに、葉をくわえた鳥が空に飛び立とうとしているように見えませんか？さらに言えば、上向きの鳥のモチーフは見る者に「前向きさ」や「希望」を感じさせます。

ポスターの片隅には「あなたの意識が誰かの希望になる」と記してあります。もう一つ、逆さまにしたときには「誰かの偏見があなたの痛みになる」という文が読めるようになっています。

校内のいろいろなところで、子供たちが互いに「誰かの小さな希望」になっている場面を目にします。一人でさみしそうにしている子に「一緒にやろう」と声をかけている子、けがをして動きにくそうにしている子にそっと「大丈夫？」と手を貸している子、欠席する子が多くて当番が大変なときに、頼まれなくても手伝っている子など。

反対に時折、心配になる場面もあります。遊んでいるときに「5人しかできないから、絶対入れないよ」とか、「係のくせに仕事が遅いよ、早くしてよ」など。「絶対」や「くせに」という言葉を聞くと少し心が痛みます。

その遊びは本当に5人でしかできないのかな、工夫できないのかな、係の仕事が遅い理由があるかもしれない、どうしたんだろう？と捉え方を変えると、雰囲気も変わるのではないのでしょうか。



2025年度愛知県人権啓発ポスター
★愛知県人権推進課より掲載許可済

人権のポスターを
ぜひカラーで
ご覧ください



城山っ子のみなさんには、一人一人が大切な存在であることを意識し、自分も他の子も大事にできる人になってほしいと思います。自分の言葉や接し方が誰かの希望になることがある、反対に、深く考えずに放った一言や対応が誰かの痛みになることがある。それを知ることから始めましょう。そして、小さなことからでもよいので、言葉や行動を変えてみることを、またはよいと思うことを続けてみましょう。

今年の人権週間は、ご家庭でも「気づくと変わる」について話してみませんか。

【お願い】

◆ 情報モラル SNS・動画配信等学校行事の写真・動画データの取り扱いについて

子供たちを取り巻くデジタル環境は日々進化しています。SNS 上でのやりとりを起因としたトラブルが増えているようです。

学校でも情報モラル教育を計画的に進め、出前授業などを活用して、肖像権・著作権に関する話やトラブル事例等について指導しています。先日のおH&Sでもお願いをしたところではありますが、再掲します。学校行事等で撮影いただいた写真や動画につきましては、他のお子さんや職員さんの顔・体操服姿等も映り込んでいる場合があるかと思います。データの扱いには十分ご留意いただき、SNS 等や動画配信等はご遠慮くださいますよう、お願いいたします。

◆ タブレットの充電器・ケーブル回収について(対象:4~6年生)

市教育委員会からの手紙や各学年だよりでもお知らせしていますが、12月に子供たちが使うタブレットの更新があります。現在ご家庭に配布している充電器やケーブルを個人懇談会(12月9日~12日)にて回収させていただきますので、ご用意をお願いいたします。

